

《第147回》 令和七年九月の作品

〈九月十二日（金） 文京区民センター2C〉

橋幸夫逝く

行く秋や送る昭和の潮来笠（孝昭）

青空や野は一面の曼殊沙華（隆治）

新涼の机上にペンと世界地図（一江）

秋祭射的自慢の孫娘（貴美）

琴の音の流る晩夏の古刹かな（前歩）

蝦夷富士や麓の村は芋掘り中（奉男）

孫の話うんうんと聞く盆の月（平六）

一輪の秋明菊の待つ湯宿（正雄）

両の掌に福島の桃ずっしりと（正佳）